

## 標準恒温恒湿槽 恒温槽 仕様

型式	DCH-C5P-150	DC-C5P-150	DCH-D5P-150	DC-D5P-150
内寸法 (W×D×H) mm	800 x 650 x 850		1000 x 800 x 1000	
外寸法 (W×D×H) mm	1040 x 1775 x 1870		1240 x 1925 x 2020	
内容量 ℓ	442		800	
重量 Kg	720	700	750	730
最大電流 A	30.1	25.8	41.2	32.5
ブレーカ容量 A	40	40	60	50
断熱材	発泡ウレタン			
内装 / 外装材料	ステンレス鋼板 / ステンレス鋼板 焼付塗装仕上げ (ホワイトアイボリー)			
高温	150℃			
昇温時間 (+20 ~ +100℃)	40分 (無負荷時)			
低温	-50℃			
降温時間 (+20 ~ -50℃)	60分 (無負荷時)			
湿度範囲	20 ~ 98 %RH	-	20 ~ 98 %RH	-
温度分布精度	±1.0℃ (-40℃ ~ +100℃) / ±1.5℃ (+100℃ ~ +150℃)			
湿度分布精度	±5.0 %RH	-	±5.0 %RH	-
温度変動幅	±0.5℃			
湿度変動幅	±3.0 %RH	-	±3.0 %RH	-
許容発熱負荷	400 W			
冷凍方式	空冷式 / 密閉型レシプロ圧縮機 二元式 + 一元式			
加熱方式	ステンレス製シーズヒーター SSR制御			
加湿方式	ステンレス製シーズヒーター SSR制御			
加湿用給水方式	自動給水式 / タンク給水式			
電源	AC200V 3Φ 50 / 60Hz (AC190V ~ AC220V)			
水質 (*1)	純水 / 蒸留水			
環境温度	+0℃ ~ +35℃			

\*1) 水質は、電気導電率 0.1 ~ 10 μs/cm 以下のものをご使用願います。イオン交換樹脂または RO 装置をご希望されるお客様には別途お見積をいたします。この仕様は、JTM K01-1998 (日本試験機工業会制定恒温恒湿槽の性能基準) に基づいた性能データです。

型式 DCH-C5P-150 / DC-C5P-150 / DCH-D5P-150 / DC-D5P-150

標準恒温恒湿槽 恒温槽 (442L/800L)



Programmable Temperature & Humidity Test Chamber

### 取扱店

### 日測エンジニアリング株式会社

〒350-1203 埼玉県日高市旭ヶ丘620-1

本社・埼玉工場

TEL. 042-984-4151 (代表)

FAX. 042-985-2411

### さいたま受託試験センター

(日測エンジニアリング株式会社内)

TEL. 042-986-0861 (受託センター)

FAX. 042-984-4831

### 東京営業所

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-1 第28荒井ビル5階

TEL. 03-6435-9518

FAX. 03-6435-9519

[www.nissokueng.co.jp](http://www.nissokueng.co.jp)

弊社ホームページからもお問い合わせ可能です。

# 標準恒温恒湿槽 恒温槽 スタンダード版（標準装備一覧）

型式 DCH-C5P-150 / DC-C5P-150 / DCH-D5P-150 / DC-D5P-150



① ペーパーレスレコーダ機能



④ 棚板 2枚（耐荷重 30Kg / 枚）



⑦ ウォータータンク（20ℓ）自動給水切替栓付



② 通信インターフェース RS-232C または RS-485



③ 観測窓



⑥ 湿球ガーゼ 5枚



⑤ ケーブル孔（Φ100mm x 4個）



## 保護装置

- 電源用漏電遮断器
- 過昇温防止装置（機械式温度設定器）
- 電動機過負荷保護用サーマルリレー
- 非常停止スイッチ
- 冷凍機保護装置（圧縮機過負荷保護用サーマルリレー・高圧圧力スイッチ）
- サイリスタ過負荷短絡保護用サーキットプロテクター
- ファンモーター過負荷継電器
- 内蔵給水タンク水位検出
- 扉開閉リミットスイッチ
- 空焚防止装置
- 異常入出力端子

## 二元冷凍システム

一元冷凍機、二元冷凍機の切り替えによる温度制御システムを採用

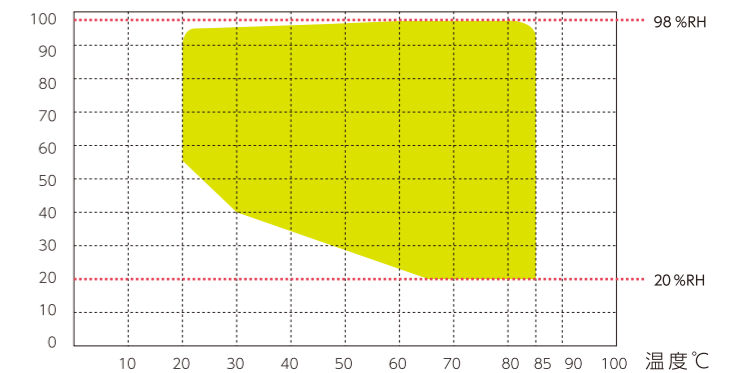


高温時、低温時に使用する冷凍機を切り替えることにより、低温域の温度試験を実現します。

## 温湿度制御範囲

外気 23℃、無試料の場合

湿度 %RH



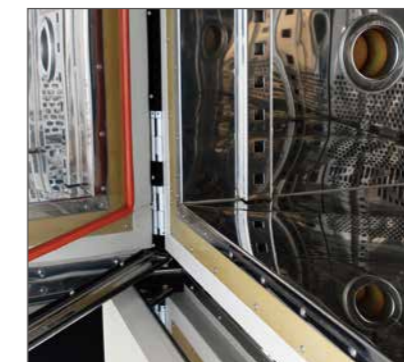
※ 上記温湿度制御可能範囲は、周辺温度が+20℃の無試料の特性です。  
 ※ +30℃以下の運転では冷却器に着霜する為、連続運転時間に制限があります。  
 ※ 湿球ガーゼが劣化した場合は交換が必要となります。

## ● 天井結露防止対策



試験槽内天井部を二重天井構造とした結露防止設計となっています。天井からの供試品への水滴落下も防ぎます。

## ● 扉露受機構



恒温恒湿運転時に扉を開けた時に、床に結露水が落ちるのを防ぎます。

## ● 天井排熱



天井排熱構造にしました。壁面との省スペース化が可能となります。

## ● 両サイドフリーアクセス（標準装備）

恒温槽の両サイドにケーブル孔（Φ100mm x 4個）があり、供試品へのアクセスがどちらからでも可能となりました。また、設置場所を設定する際も、従来の片側だけのケーブル孔恒温槽によるレイアウトで悩む必要がありません。

